

伊東の丘いずみ地域連携推進会議 議事録(令和7年度第1回)

当事業所の運営に当たっては、地域と施設等が連携をすることにより、利用者と地域との関係づくりや、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進等を目的として、外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を定期的を開催しています。当事業所も、地域の一員であることを意識しながら、地域の皆様と連携し合う関係をつくること が大切であると考えています。また開催については行政指導内容でも義務付けられています。

開催日時	令和8年2月18日(水) 13:30~14:30	開催場所	地下1階多目的ホール
出席者	初鹿野勲様(地域の関係者)、稲葉 仁様(福祉に知見のある人)、渡森隼人様(市町村の障害福祉担当者)、伊東の丘いずみ利用者家族代表、伊東の丘いずみ利用者代表、笹原施設長、八木澤課長、古澤主任、鈴木主任、山本事務課長		

(議事内容)

1. 開会

- ・笹原施設長より開会のあいさつを実施。

2. 自己紹介

- ・参加者による自己紹介を実施。

3. 地域連携推進会議

①施設と地域の連携について

- ・伊東の丘いずみにおいて地域活動委員会が設けられており、地域との関り連携強化を目的に月に1回会議を行っている。今年度はJA婦人部の清掃ボランティア受入、フラダンスや大正琴の慰問活動の受入、静岡県芸術祭へ利用者作品の出展を行い、終了後は1階フロアに展示し多くの方にご覧いただいております。また利用者のハンドベルクラブ活動をディサービス伊東の丘きらめきに出向いて演奏を実施した。今後は伊東市内の特別支援学校に出向いてハンドベルの演奏を検討しています。(鈴木)

(質疑/意見交換)

- ・地域と施設との連携で何かご意見はありますか。(八木澤)
 - ・特になし

②施設やサービスの透明性の確保

- ・サービスの質の改善、透明性の確保を目的と利用者に対する令和7年度満足度調査(本年度5年目)の結果報告書に基づき説明。職員への相談のしやすさ、安全対策について、食事内容について、職員の接し方、生活環境について改善の必要性が高いデータの結果となった。全職員から改善案を収集し、改善に向けた実務者の配置を行って満足度向上を図っている。(八木澤)

(質疑/意見交換)

- ・施設やサービスの透明性の確保について何かご意見はありますか。(八木澤)
 - ・特になし

③利用者の権利擁護

- ・障害サービスの向上や人権侵害の予防改善を目的に人権擁護委員会を月に1回開催している。職員の虐待防止の意識向上のため、人権擁護研修への職員派遣、事例検討や年に2回虐待防止のためのセルフチェックを行っている。また、毎月の職員会議や委員会において

身体拘束適正化の検討を行っている。(古澤)

(質疑／意見交換)

- ・身体拘束等に関する質問はありますか。(八木澤)
- ・特になし

④地域連携に関わる質疑応答(協議・意見交換)

- ・施設全般に関して何かご意見ありますでしょうか。(八木澤)
- ・今年度の伊東市泉町内会の会長より災害時の避難場所について、伊東の丘にお願いできないかという意見がありました。泉地区は門野中学校や閉園した鎌田幼稚園が指定避難場所になっているが、距離が長いことや閉まっているなど地区として困っているので伊東市行政から要請があった場合は協力していただきたい。(初鹿野)
- ・先日の大雪や断水の際は、利用者のサービスや生活支援の継続に対して特段の支障はありませんでした。(八木澤)
- ・家族代表＝生活に不便もなく利用しており有り難く感じます。他の事業所も拝見していますが、いずみはしっかり対応をいただいているので家族として、とても安心していきます。(利用者家族代表)
- ・利用者代表＝毎月行事を開催していただいているが、回数をもう少し増やしていただきたい。昨年、職員に同行にて中学校の同窓会に参加できたことが良かった。(利用者代表)
- ・コロナウィルスが流行する前までは泉地区の祭典で伊東の丘にもお邪魔させていただき交流ができていたが、祭典に参加する子供の減少等からここ数年祭典が開催できなくなっている。また祭典を開催するようであれば伊東の丘に寄らせていただき交流をお願いしたい。(初鹿野)
- ・伊東の丘いずみに入所されている方が介護保険サービスの利用できる65歳に到達したらどのような支援をされていますか。(稲葉)
- ・利用者に対して情報提供を行い、意思決定支援を実施して意向を確認しています。地域移行の希望があれば支援を実施します。(八木澤)
- ・施設を退所されるケースはどのような理由ですか。(渡森)
- ・昨年は2名が退所されており、いずれも医療的ニーズが高まったためである。地域生活や在宅生活への移行はなかなか難しいが利用者のニーズを確認してから対応している。(古澤)
- ・行政としては65歳に到達した方には介護保険のサービスを勧めているが利用者の意思を尊重されているのであれば問題ないと思います。(稲葉)
- ・現在の情勢として入所施設を減らす傾向になっているが、地域生活に移行しても生活が成り立たず、再度、施設に戻る場合が難しくなることが想定されます。提供できるサービスが整っていなければ地域での生活は困難であることが課題と考えます。(笹原)

4. その他(連絡事項など)

- ・来年度も同様の時期に開催をお願いしたいと考えますがいかがでしょうか。(八木澤)
- ・異議はありません。(全員)

5. 閉会

- ・笹原施設長より開会のあいさつを実施

以上